

山梨県立中央病院・血栓回収療法症例における 頭部 CTA を用いた定量的側副血行解析法について

1. 研究の対象

2015年4月1日より2023年12月31日までに当院脳神経外科で治療を行った脳主幹動脈閉塞による脳梗塞症例

2. 研究目的・方法

2015年から脳主幹動脈閉塞症に対してステントを用いた脳血管内治療が広まり、当院でも積極的にこれを行っている。これまで予後規定因子は発症から再開通までの時間が最も重要とされてきたが、早期に再開通しても予後不良な症例、またその逆もあり、治療前の側副血行の評価が重要であるという報告が散見されるようになった。報告の多くは高額な還流画像解析ソフトを使用しているが現時点では普及はしていない。

できるだけ簡便な方法で治療前の側副血行の評価を行うことが、治療適応を決定するために重要であると考えている。当院では、頭部CTAの元画像を用いて、定量的側副血行解析法を考案し、その有用性を報告しており、今後、前方視的に、その解析法について検証する。

研究期間 : 研究実施承認日 ~ 2023/12/31

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は当院搬送時点から以下の情報を収集する。

- ・患者背景：性別、既往歴などの入院時状態を示すデータ
- ・発症から治療までの時間経過、退院時、3か月後の神経機能予後
- ・レントゲン検査、治療前に行った造影CTによる脳血管撮影画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 脳神経外科 中野 真

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

研究責任者：

山梨県立中央病院 脳神経外科 中野 真

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）